

# 千代田支部ニュース

「変革のコアとなる、絆と連携をもとに」

<http://www.chiyoda-p.com/> 東京都印刷工業組合千代田支部 発行人 山本久喜 編集人 斎田精一

## 千代田区と東印工組千代田支部 大規模災害時連携・協力基本協定を締結



▲ 石川区長と山本支部長

平成 24 年 8 月 29 日（水）、大災害が発生したときの区民や帰宅困難者等の被災者の一部受け入れ施設を確保すること及び区への印刷機器や印刷用紙、印刷サービスの提供や、区備蓄物資等の輸送に関する役務の提供を想定した。連携・協力に関する基本協定で、詳細は今後詰めていくことになっています。締結式は千代田区庁舎 6 階特別会議室にて、他の 6 団体（三菱地所、西武プロパティーズ、靖国神社他）及びプレス（朝日、読売、日刊工業等、業界紙は新聞之新聞社、日本印刷新聞社）が参加し行われました。

石川区長から「このように協定を締結できたことは、区民等の安全・安心対策に取り組んでいる立場として大変嬉しく思います。

地震等による大規模災害が発生した場合、行政だけでは、その対応に限界がありますこの協定に基づき、区民や帰宅困難者に対する支援体制が充実し、災害時の応急対応の幅が更に広がりました。3 月 11 日には、危惧され

ていた帰宅困難者の発生が現実のものとなり、区内でも大きな混乱がありました。こうした反省を踏まえ、区でも防災計画を見直し、対策の強化を図っている状況ですが、そのような中でここにお越しの皆様のご理解を得て協定締結の運びとなったことは、誠に意義があるものといえます。今後も締結内容をの詳細確認を継続的に行うとともに、区および貴団体とのさらなる連携強化を図っていければと思います。」というコメントを頂戴した。

（以下は読売新聞記事）

今回の協定で帰宅困難者を新たに受け入れる事になるのは「三菱地所」や「東京YWCA」などの 5 法人・団体。「印刷工業組合千代田支部」は帰宅困難者の受け入れだけでなく、印刷機器や印刷用紙の提供も行う。災害時には、インターネットによる情報提供が行き渡りにくい高齢者らに、新聞に折り込む広報紙など紙媒体で情報を伝達する必要もあるためだ。このほか靖国神社が休憩所を提供するなど 2 企業・団体が協定を結んだ。千代田は企業や官公庁が多く集まるため、都の被害想定では、首都直下型地震で震度 6 強が観測された場合、50 万人が帰宅困難になると予測されている。同区は約 2 万人の受け入れ体制構築を目指しているが「行政だけでは限界もある。さらに企業との連携を図っていきたい」としている。

## 新日本部役員・新旧正副支部長 歓送迎会



5月28日（月）午後6時より東京ドームホテル4階にある「熊魚庵たん」において、5月16日の本部総代会並びに21日の支部定時総会におきまして、新執行部が選任されたのに伴い、「新日本部役員並びに新旧正副支部長歓送迎会」が、恒例として開催され、17名が参加された。始めに下谷顧問よりこういう苦しい時代の中で支部運営をされた全執行部への感謝と新執行部への励ましのエールを送られた。続いて山本新支部長より御礼の言葉に続いて、青木相談役の乾杯の発声にて会宴となった。



### 【御招待者氏名】

水上 光啓（前理事長）  
橋本 唱市（新副理事長）  
佐野 栄二（前支部長）  
山本 久喜（新支部長）  
奥村 文泰（前副支部長）  
岩岡 正哲（前副支部長）  
斎田 精一（新副支部長・再任）  
大西 英資（新副支部長・再任）  
前田隆一郎（新副支部長）  
金子 雅明（新副支部長）  
磯崎 正仁（新副支部長） 計 11名

### 【顧問】

新村 重晴  
山本 悅郎  
下谷 隆之  
小林 忍  
【相談役】  
加藤 保幸  
矢部 一憲  
米倉 伸三  
吉田 千秋  
新村 敏明  
青木 宏至

### 【参与】

澤田 耕次  
木全 実  
中村 勝亮  
春田孝二郎  
戸田 竹男  
坂口 敬三  
安藤 英夫  
戸根木 孝  
塚田 司郎  
近藤 譲  
計 20名

### 千代田支部事業予定

9月29日（土）千代田支部・商工連共催  
銚子・犬吠崎灯台ツアー  
10月18日（木）千代田印刷人ゴルフ大会  
(鷹乃台カンツリークラブ)

11月予定 全体役員会

第2回研修会

12月予定 顧問相談役会

## 千代田支部厚生事業 －プロ野球観戦－

6月29日（金）今年も東京ドームにおいてプロ野球、好カードの巨人対中日の試合を観戦した。内野指定席に2,000円の食事券付で3,000円という会費で、本年も応募者



▲ 巨人1番 阿部の打席

多数につき抽選にて100名の方にチケットを配布した。

当日の試合はセ・リーグ勝率1位と2位のチームの激戦の中、投手戦となり、巨人の沢村が変化球を要所でうまく使い7回に1失点を許しただけで、2対1で巨人が中日を下した。



▲ ハワイアンズから応援

## 千代田区商工業連合会定時総会



▲ 更科理事「VISION2015」発表



▲ 米倉会長挨拶

6月7日（木）、午後5時よりメトロポリタンエンドモンドにおいて第49回定時総会を開催、平成23年度事業報告及び決算報告並びに平成24年度事業計画案及び予算案を原案どおり全会一致にて可決承認された。6時より隣室において総会懇親会を開催する。初めに更科理事よりプロジェクトを使って「VISION2015」を発表。基本テーマである「人と地域をつなげる力、千代田区商工連」について地域内外の連携、推進、地域資源の活用などの提案があった。斎田副会長の司会にて米倉会長の挨拶。

続いて石川雅己千代田区長、衆議院議員海江田万里、都議会議員くりした善行、自民党東京都支部連合会 内田茂様などのご祝辞を頂戴する。懇親会は区議会議員団、各商工関係代表者等々と和やかに歓談され、午後7時半に角田理事の手締めにて散会した。大変ご多忙の方が多い中で多数ご出席頂き千代田区商工業連合会の存在が増大していることを示した。

### 第2回神田カレーグランプリ 2012

開催予定日：2012年10月27日（土）・28日（日）  
会場：小川広場・ちよだプラットフォーム広場予定

## 平成 24 年度 全体役員会開催



第1回全体役員会は支部員 20 名出席のもと、千代田印刷会館 2 階会議室において、6月 8 日（金）11 時 30 分より午後 1 時 10 分頃まで開催された。

前田副支部長の進行にて、始めに山本支部長の挨拶の中で、災害時に印刷物提供や災害用物資の運搬等役務を提供する協定を千代田区と災害協定を締結する話し合いを行う事や、又今期役員の担当役割等紹介された。その後、今期の研修事業や厚生事業に関して金子副支部長、大西副支部長より説明

があり承認を受ける。又千代田区商工連の中にブランド委員会を立ち上げ、山本支部長がすでに委員長となり活動をしている中で、印刷における千代田のブランドを確立し、他区の印刷会社と差別化を図る方策を検討中である旨等、話し合われた。

### 本部担当

経営革新・マーケティング委員会：山本久喜  
環境・労務委員会：前田隆一郎  
組織活性化委員会：金子雅明  
教育・研修委員会：磯崎正仁  
CSR 推進専門委員会：江見つくる



## 第1回 千代田支部研修会

本年度第1回研修会は、首都圏直下型巨大地震や大火災・テロ攻撃などの緊急事態における対応「BCP（事業継続計画）」策定について、又「ドルッパ 2012 報告」を下記要項にて開催され 37 名が参加した。

### 第一部 BCP（事業継続計画）のご紹介

講師：岩岡印刷工業株式会社

代表取締役 岩岡正哲氏

執行役員 中嶋忠司氏

株式会社精興社

生産管理部 亀澤正記氏

ている。第一部は岩岡正哲社長による印刷印刷工業の BCP の取組について講演で、BCP を策定するとどんなメリットがあるか、又どんなスケジュールで進める作業ステップ等、講演頂いた。



▲ 平成 23 年度東京都 BCP 策定支援フォーラムにて優秀賞を受賞

BCP（業継続計画）とは自然災害など不測の事態から会社を守る計画です。すでに岩岡印刷工業（株）におきましては本年 3 月 27 日に開催された、東京都 BCP 策定支援フォーラムにおきまして優秀賞を受賞され



続いて、数多くの書籍を手掛けている（株）精興社 生産管理部の亀澤正記氏より「3.11の際の体験や、防火訓練の反省会における意見などから、緊急に大規模地震対策を策定する必要性を感じました。弊社の拠点は青梅(本社と文字組版印刷工場)、神田(営業と多色制作)、朝霞(多色印刷工場)にあり、3拠点それぞれで立地と役割が異なることから拠点ごとにリスク対策が必要になる点が最大の懸念事項でした。そこで3拠点のリスクを確認したいと考え、BCP策定支援事業に応募しました」とのこと。

精興社はISO14001を取得し、社員がPDCAを回す取組を経験していることから、BCPの取組にもその経験が役立つ一方、今回の取組が社員の教育に繋がることを期待している。

## 第二部 drupa2012 報告会

講師：公益社団法人 日本印刷技術協会 (JAGAT)

専務理事 相馬謙一氏

日時：平成24年7月12日（木）

18:00～20:00

会場：千代田印刷会館 2階会議室

次に相馬謙一氏のdrupa2012報告が行われた。今回のdrupaは「Inkjet drupa」と呼ばれており、多くのインクジェット印刷機が出展されていたが、参考出展も多かったという。

コダックの「Stream コンセプトプレス」、HPの「Web Press」、富士フィルムの「Jet Press」などはオフセット用紙にオフセット品質で出力でき、EFIの「Jetrion」などはロールtoロールでシール・ラベル市場を考慮したものが出展されていたという。また、電子写真方式は品質と安定性が見られ、画質的に

はオフセットレベル品質に近づき、高速化・低コスト化など現実的な改良も進んでいる。機械内部の新設計や大きな改良が進んでいるものではコダック「NexPress」の新Sシリーズ(3機種)、HP Indigoの「7000 Digital Press」の新エンジンは倍径で倍速(ws 6000 Digital Pressなど)、コニカミノルタの「bizhub Pro C65hc」などが挙げられた。

相馬氏はこの中で、「電子写真とインクジェットはしばらく並行していくと思う。3～5年でシェアが変わることはないのではないか。今後10年くらいは並行していく、どこかでシェアが変わるものではないか」という印象を今回のdrupaで感じた」と述べた。

またオフセット印刷機(枚葉・Web)のトレンドとして(1)大型機(倍版)にハイデルも参入(XXL化)(2)小型機(菊4裁)をローランドが投入(3)厚紙・薄紙兼用、かつ反転両面印刷タイプ(4)枚葉機の高速化は1万8000回転/1万5000回転(5)材料(インキ・ニスなど)・乾燥方式の多様化(6)インライン加工(折り・抜き・穴あけ)(7)これらの工程をワンパス印刷で(8)生産性の追求(バリアブル印刷・JDF利用・段取り時間短縮)の8点を挙げた。



## 平成24年度 印刷産業環境優良工場表彰 千代田支部より2社

賞名	経済産業大臣賞	(社)日本印刷産業連合会会長賞
企業・工業名	日経印刷株式会社 グラフィックガーデン	株式会社千修 東雲生産センター
代表者	林 吉男	下谷友康

## 平成 24 年度 敬老の集い 組合本部



▲ 儀式殿で御神酒を頂く

第 46 回「敬老の集い」が 9 月 13 日（木）、明治記念館において開催、満 77 歳以上の長寿者 93 名が出席して盛大に祝った。

また千代田支部より新村重晴氏、和田和二氏、吉田千秋氏、木全実氏、小林忍氏、南部明夫氏、岩岡勤氏、塚田義明氏の 8 名が出席され午前 11 時から儀式殿で参拝したのち、正午から「曙の間」に移動して祝賀会が行われた。初めに島村理事長より平均年齢 50 代前半の頼りない執行部ですが、大先輩の方々に支えて頂きたい旨のスピーチがあり、来賓祝辞等のあと、森永副理事長の発声で乾杯する。祝宴では向島芸奴による舞踊と邦楽を楽しんだ。



千代田支部長寿者（20 名）○印当日出席者

今井 義雄	97	今井印刷（株）
西田 栄治	93	西田整版所
加藤 保幸	89	（株）加藤文明社
○新村 重晴	89	新村印刷（株）
式 正	88	（株）新聞之新聞社
矢浪 久	86	（有）ヤナミ印刷所
○和田 和二	85	（株）平河工業社
山田 隆	83	（株）精興社
西野 久	82	（株）三友社
○吉田 千秋	82	広橋印刷（株）
田 中良	82	（株）文會堂
○木 全	81	大和綜合印刷（株）
○小 林	80	（株）文化カラー印刷
石 保	80	（株）博文社
○南 部	79	（株）ヤスヰ
○岩 岡	78	（株）南印刷所
関 口	78	岩岡印刷工業（株）
○塚 田	77	大晃印刷（株）
渡 邊	77	錦明印刷（株）
		（株）文榮社

## 暑気払い懇親会ー放心亭ー



すっかり千代田支部の恒例となった「暑気払い懇親会」が今年も8月28日(火)6時半より欧風ビアレストラン「放心亭」において開催され。満席の71名が残暑の中、懇親を深めた。

今年も大西副支部長の司会進行にて初めに山本支部長より災害時における千代田区との協力に関する基本協定の概略及び9月29日に厚生事業として、バストゥアの紹介を述べられ、次に佐野前支部長の乾杯の発声にてドイツ直輸入のビールで乾杯!おいしい料理とワインをお腹一杯頂戴した。宴たけなわの所、時間となり春田参与の三本締めにて散会となつた。

